

令和8年度第1回岡山県立倉敷まきび支援学校学校運営協議会 実施要項

1 目的

学校の抱える諸問題の解決や児童生徒の望ましい成長をより一層支援するため、学校と地域が学校運営の目標/ビジョンを共有し、ともに力を合わせて学校運営に取り組む。

2 日時

令和8年5月20日(水) 9時30分～11時30分

3 場所

岡山県立倉敷まきび支援学校 大会議室

4 構成委員

〈学校運営協議会委員〉(五十音順)

- 内田 悠 (真備地域生活支援センター 所長)
門野 辰彦 (真備船穂商工会青年部長 田村モーターサービス代表)
金島 一顯 (倉敷まきび支援学校長)
桑原 正 (倉敷市立真備中学校長)
櫻田 亜紀 (ハローワーク総社 所長)
土屋 瞳 (箭田地区まちづくり推進協議会)
夏井 将行 (ももぞの学園施設長)
百本 恵子 (箭田地区まちづくり推進協議会、地域コーディネーター)
檜皮 修 (くらしき作陽大学子ども教育学科 准教授)
福田 みのり (岡山県倉敷児童相談所 所長)
藤原 能成 (倉敷市立箭田小学校長)
守屋 弘志 (真備船穂商工会会長 箭田SS(有)守屋石油 社長)
山名 正晃 (本校PTA会長)

〈学校教職員〉

- 渡辺 琢也 (事務部長)、清岡 憲二(副校長)
平松 友加里(小学部教頭)
滝沢 万紀子(中学部主事・主幹教諭)
大原 広誉 (高等部教頭)
妹尾 美樹 (B部門教頭)
恩村 雅美 (総括教務・主幹教諭)
長田 恵子・黒川 由美(コーディネーター・指導教諭)
藤井 昂大(進路指導主事)、斎藤 悠真(進路係)、杉 裕貴紀(生徒指導主事)

- 5 内 容(進行予定時間) 司会:副校長
- 9:30~ 開会挨拶(校長)
- 9:35~ 委員自己紹介
- 9:40~ 学校運営協議会会長の承認
- 9:42~ 学校経営に係る基本方針及び重点課題について
「令和8年度学校経営計画」「校内ルール」についての説明(校長)
- 9:55~ いじめ対策基本方針(大原教頭)
休憩・移動(5分程度)
- 10:20~ キーワード「地域とともにある学校づくり」についてグループ協議
- 10:55~ グループ報告(各3分)・意見交換
- 11:25~ 閉会挨拶(運営協議会会長)
- 11:30 解散

- 6 グループ別協議内容(本年度の取組について、日時内容等の具体的な計画をたてる)
写真を掲載させてください。(写真:恩村)

地域とともにある学校づくり

- (1) 「地域学習」「地域連携」…地域資源を学びに生かすために
- (2) 地域貢献…子どもたちの活躍が、地域の方の笑顔につながるように

就労: 櫻田委員(職安所長)、守屋委員・門野委員(企業)、
高教頭、進路指導主事・係

- 地域で働く(自己有用感の高まり 生徒への理解)
地域型実習、地域行事等へのボランティア、校外販売 等

環境・安全: 土屋委員・百本委員(まちづくり推進協議会)、
事務部長、A中部主事、B部門教頭、総括教務、生徒指導主事

- 安全・安心な街に(地域住民と一緒に)
あいさつ運動、避難所体験、環境美化のボランティア活動
スポーツ交流 等

福祉: 福田委員(児相所長)、夏井委員(施設長)、
内田委員(地域生活支援センター所長)、山名委員(PTA会長)、
副校長、小教頭、指導教諭

- 特別支援教育のセンター的機能として(子育て支援)
まきびカフェ 等

教育: 檜皮委員(大学教授)、藤原委員(小校長)、桑原委員(中校長)、校長

- 交流・協同学習
スポーツや芸術活動などを通しての学校間交流 等

7 今後の予定

第2回 令和8年10月13日(火) 第3回 令和9年2月25日(木)

岡山県立倉敷まきび支援学校 第1回 学校運営協議会 議事録

開催日：令和8年5月20日（水）
会場：大会議室

開会あいさつ（金島校長）

先週高等部の運動会があった。また、今週小・中学部の運動会が予定されている。近年暑さが際立ち、今後も暑さが続く予想されるが、そのような中での行事、教育活動の持ち方についても考えていきたい。今回も様々な意見をいただき、学校運営に生かしていきたいと考えている。

学校運営協議会会長・副会長の承認

会長に守屋委員、副会長に門野委員が承認された。

学校経営に係る基本方針及び重点課題について（金島校長）

〈報告〉自立活動、防災教育の充実や、近隣の教育機関や地域との協働学習、AIを活用した業務の効率化などを学校経営の中心に据えている。また、教職員のコンプライアンス意識を高め、児童生徒や保護者にとって安心安全な学校につながるよう校内ルールの徹底も継続して行っていく。

いじめ問題対策基本方針（大原教頭）

〈報告〉昨年度のいじめ認知件数は6件であった。いずれも重大事案には発展していない。近年、SNSでのトラブルが増加傾向にある。SNSの適切な使い方について日々の授業で取り組んだり、関係機関と連携したりしていじめの未然防止に努める。

グループ協議「地域とともにある学校づくり」

就労班

〈報告〉今年度も事業所参観日を設定し、事業所の方を対象に学校公開を行う。学校では、実習先の開拓に努めているところである。ハローワークからの求人がきっかけで実習につながった好事例もあるため、今後も連携を取りながら開拓に努めたい。また、今年度から障害者の法定雇用率が2.7%に引き上げられる。そのことに関して、ハローワークが事業所に説明し、その状況について学校とも共有していく予定である。

福祉班

〈報告〉今年度もまきびカフェ、出張相談会を中心に活動していく予定である。まきびカフェの開催にあたっては、保護者の気持ちになるようにという点を大切にしたい。PTAとも連携して普段から保護者同士のつながりの場を持ち、敷居を下げた状態でまきびカフェへの参加につながれたらよいという意見もあった。出張相談会では、利益誘導にならないように一般的な話をするという基本姿勢は守りつつ、保護者の具体的な話を聞きたいという気持ちにも応えられるようにしていく。

〈意見〉学校を支えるために、これだけの力添えがあることが分かった。保護者としては将来への道が見えることで安心感を得られる。

環境・安全班

〈報告〉吉備真備駅の花壇の整備がなかなかできていないことが課題として見えたため、今年度から花壇の管理を地域へ移行する方向で動くこととなった。その他は、昨年度と同様に今年度も活動していくことを確認した。

〈意見〉ボランティア募集について広報を行い、地域が学校に入っていける環境を整えることで、地域と学校との関わりが増えることを期待したい。／駅で挨拶をしっかり交わされていて、好ましい姿を見ることができている。

教育班

〈報告〉今年度も情報交換をしながら、お互いに学び合える学習や防災について協力してできることなどを探っていくことを確認した。

〈意見〉専門家派遣事業を活用して、特別支援教育のノウハウを学んでいきたい。／学校間交流を通して、児童が優しい気持ちになっていることが伺える。児童の交流だけではなく、教職員の交流にも取り組み、お互いに学び合いができたらと思う。／大学として無理なく協力できる形を探りたい。

閉会あいさつ（会長）

児童生徒、保護者、学校のため、協力して各班の事業を実施されたい。